



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊嶋哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	185,442	△6.1	9,461	△53.1	13,034	△46.6	10,359	△40.5
2023年3月期第2四半期	197,417	10.2	20,184	△19.1	24,400	△8.2	17,419	△5.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 22,090百万円 (△29.1%) 2023年3月期第2四半期 31,158百万円 (47.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	49.03	49.00
2023年3月期第2四半期	82.19	82.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	535,691	356,609	66.0
2023年3月期	522,868	339,308	64.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 353,507百万円 2023年3月期 336,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	△2.2	20,500	△24.6	25,000	△20.4	27,500	160.2	130.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年10月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	229,513,656株	2023年3月期	229,513,656株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	18,198,098株	2023年3月期	18,235,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	211,283,687株	2023年3月期2Q	211,928,863株

※ 当社は、当第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営環境を振り返りますと、世界的な金融引き締め政策の継続による景気下振れリスクや金融資本市場の変動等の懸念はなお拭えず、また中国経済低迷の影響も加わり、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,854億42百万円となり、前年同期間に比べて119億74百万円の減収となりました。また、営業利益は94億61百万円と前年同期間に比べて107億23百万円の減益、経常利益は130億34百万円と前年同期間に比べて113億66百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億59百万円と前年同期間に比べて70億60百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、為替影響などにより売上高は前年同期間を上回ったものの、中国経済低迷に伴う出荷の伸び悩みや市況価格下落等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋の流通在庫が引き続き過剰で需給の緩みが解消せず、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化成品関連では、粘着テープ・ラベル向けの世界的な需要回復の遅れによる出荷減や市況価格下落等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を大幅に下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて66億80百万円減少し1,047億31百万円、営業利益は前年同期間に比べて56億87百万円減少し36億44百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、大型テレビ向け光学フィルムは回復基調にあるものの、スマホ、モバイル端末向け光学フィルムはテレワーク特需が一巡したことにより、また光学樹脂は医療、その他用途にて主力生産工場の定期修理に伴う出荷調整、半導体市場の低迷、並びに一部顧客の在庫調整等の影響を受け、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電池材料関連では、第2四半期に入ってから中国顧客の稼働率は回復基調にあるものの、中国経済低迷による第1四半期の需要落ち込みの影響を挽回するには至らず、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化学品関連では、合成香料の販売が一時的な市場の需給緩和の影響を受けたことに加え、特殊溶剤が主力生産工場の定期修理に伴う出荷量調整を行ったこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体市場の低迷による半導体メーカーの稼働率低下の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

トナー関連では、第2四半期に入り中国経済低迷による需要落ち込みの影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて、51億54百万円減少し514億9百万円、営業利益は前年同期間に比べて50億44百万円減少し、65億92百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を下回りましたが、営業利益は前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて1億49百万円減少し314億63百万円、営業利益は前年同期間に比べて6億79百万円増加し、13億99百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、128億23百万円増加し、5,356億91百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、44億78百万円減少し、1,790億81百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、173億1百万円増加し、3,566億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2023年10月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,082	33,669
受取手形及び売掛金	79,622	84,275
電子記録債権	3,972	4,255
商品及び製品	97,345	91,202
仕掛品	7,657	6,765
原材料及び貯蔵品	22,450	22,987
未収入金	43,816	33,337
その他	11,801	11,259
貸倒引当金	△113	△129
流動資産合計	296,631	287,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,912	45,668
機械装置及び運搬具（純額）	31,467	40,371
土地	15,393	15,873
建設仮勘定	20,425	22,467
その他（純額）	4,726	5,410
有形固定資産合計	113,924	129,789
無形固定資産		
その他	4,442	5,155
無形固定資産合計	4,442	5,155
投資その他の資産		
投資有価証券	100,113	104,123
繰延税金資産	728	1,050
その他	7,249	8,173
貸倒引当金	△219	△219
投資その他の資産合計	107,871	113,127
固定資産合計	226,237	248,071
資産合計	522,868	535,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,659	69,080
電子記録債務	3,122	3,269
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	19,000	20,000
未払法人税等	2,898	3,860
賞与引当金	2,625	2,256
修繕引当金	5,634	4,171
その他の引当金	47	47
その他	34,641	41,899
流動負債合計	160,587	153,542
固定負債		
繰延税金負債	2,272	4,780
退職給付に係る負債	13,759	13,825
修繕引当金	930	464
その他の引当金	46	116
その他	5,965	6,355
固定負債合計	22,973	25,540
負債合計	183,560	179,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,137	19,599
利益剰余金	268,363	273,443
自己株式	△19,024	△19,435
株主資本合計	292,688	297,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,538	36,807
繰延ヘッジ損益	△1	9
為替換算調整勘定	11,823	18,524
退職給付に係る調整累計額	262	349
その他の包括利益累計額合計	43,623	55,689
新株予約権	88	88
非支配株主持分	2,910	3,014
純資産合計	339,308	356,609
負債純資産合計	522,868	535,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	197,417	185,442
売上原価	135,721	135,514
売上総利益	61,695	49,928
販売費及び一般管理費	41,511	40,467
営業利益	20,184	9,461
営業外収益		
受取利息	89	121
受取配当金	1,778	1,654
為替差益	2,157	2,336
持分法による投資利益	48	38
雑収入	440	176
営業外収益合計	4,512	4,324
営業外費用		
支払利息	49	35
休止固定資産減価償却費	137	381
投資事業組合運用損	18	184
雑損失	93	152
営業外費用合計	297	751
経常利益	24,400	13,034
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	—	2,792
特別利益合計	0	2,798
特別損失		
固定資産処分損	31	161
減損損失	232	679
関係会社出資金評価損	99	—
その他	32	6
特別損失合計	395	845
税金等調整前四半期純利益	24,005	14,987
法人税等	6,372	4,642
四半期純利益	17,633	10,345
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	215	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,419	10,359

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	17,633	10,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,094	5,269
繰延ヘッジ損益	△9	10
為替換算調整勘定	9,150	6,220
退職給付に係る調整額	10	87
持分法適用会社に対する持分相当額	280	159
その他の包括利益合計	13,525	11,745
四半期包括利益	31,158	22,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,605	21,986
非支配株主に係る四半期包括利益	553	104

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,005	14,987
減価償却費	9,544	8,689
減損損失	232	679
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△829	△406
修繕引当金の増減額 (△は減少)	2,533	△1,930
受取利息及び受取配当金	△1,867	△1,774
支払利息	49	35
為替差損益 (△は益)	△741	△677
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,791
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,724	△2,120
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,016	10,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,441	△16,422
その他	△2,984	16,127
小計	13,644	24,495
利息及び配当金の受取額	2,084	2,036
利息の支払額	△77	△64
法人税等の支払額	△7,341	△3,750
その他	△7	70
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,303	22,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,091	△13,882
無形固定資産の取得による支出	△1,835	△1,174
投資有価証券の取得による支出	△2,497	△2,219
投資有価証券の売却による収入	47	1,009
貸付けによる支出	△114	△1,246
長期前払費用の取得による支出	△565	△153
その他	△178	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,234	△17,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,900	—
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	1,000
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△3,211	△3,801
非支配株主への配当金の支払額	—	△490
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△414	△522
自己株式の取得による支出	△3,989	△1,998
自己株式の処分による収入	—	1,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,715	△3,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,192	1,589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,454	2,980
現金及び現金同等物の期首残高	44,521	28,270
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	592
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,067	31,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	111,412	56,562	167,974	31,611	199,585	△2,169	197,417
外部顧客への売上 高	109,600	56,552	166,152	31,265	197,417	—	197,417
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,812	10	1,822	346	2,169	△2,169	—
計	111,412	56,562	167,974	31,611	199,585	△2,169	197,417
セグメント利益	9,331	11,636	20,967	719	21,686	△1,502	20,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,502百万円は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,524百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」70百万円、「高機能材料事業」162百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	102,956	51,392	154,348	31,094	185,442	—	185,442
外部顧客への売上 高	102,956	51,392	154,348	31,094	185,442	—	185,442
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,775	16	1,792	369	2,160	△2,160	—
計	104,731	51,409	156,140	31,463	187,603	△2,160	185,442
セグメント利益	3,644	6,592	10,236	1,399	11,635	△2,174	9,461

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,174百万円は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,196百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」562百万円、「高機能材料事業」34百万円、「全社資産」82百万円です。